

2025 年度
光産業全出荷額、国内生産額調査結果について

2026 年 3 月 12 日

一般財団法人光産業技術振興協会

2025 年度光産業全出荷額、国内生産額調査結果について

一般財団法人光産業技術振興協会は光産業動向調査委員会を設置し、1980 年以来、毎年光産業の動向調査を実施しており、このたび 2025 年度の調査結果をまとめた。6 つの製品分野別調査専門委員会にて調査を実施し、全出荷額及び国内生産額について、2024 年度実績とともに、2025 年度見込みをまとめた。また、2026 年度予測について、定性的調査を行った。

—— 2024 年度全出荷額（実績）：12 兆 4,744 億円、成長率+0.4% ——

—— 2024 年度国内生産額（実績）：5 兆 9,556 億円、成長率+0.3% ——

入出力分野は、高機能化及び動画撮影の増加によるデジタルカメラの需要増加、さらに、スマートフォン及び車載カメラ需要を加えたイメージセンサの大幅増加により、全出荷、国内生産ともに増加となった。**レーザー・光加工分野**は、エキシマレーザーが前年度の反動により大幅減少するが、生成 AI などの需要増加により、ランプ・LD 露光機は大幅増加し、全出荷・国内生産ともに増加となった。**センシング・計測分野**は、半導体、FA などの設備投資継続により、全出荷・国内生産ともにやや増加となった。**情報通信分野**は、生成 AI 需要拡大によるデータセンタ設備投資増により、光コネクタなどの光伝送用部品が大幅増加するものの、光伝送機器・装置の設備投資が大幅減少したため、全出荷・国内生産とも横ばいとなった。**太陽光発電分野**は、新規事業が伸長せず、全出荷・国内生産ともにやや減少となった。**ディスプレイ・固体照明分野**は、テレビ、ディスプレイ素子などが減少し、全出荷・国内生産ともに減少となった。**光産業全体**として、全出荷・国内生産ともに横ばいとなった。

—— 2025 年度全出荷額（見込）：12 兆 6,413 億円、成長率+1.3% ——

—— 2025 年度国内生産額（見込）：6 兆 1,069 億円、成長率+2.5% ——

情報通信分野は、生成 AI 需要拡大によるデータセンタ設備投資増により、光ファイバ、光コネクタ及び発光/受光素子、光受動部品が大幅増加、400 Gb/s 超の装置導入などが加速し、光伝送機器・装置が大幅増加となり、全出荷・国内生産ともに大幅増加の見込みである。**入出力分野**は、高機能化及び動画撮影の増加によるデジタルカメラの需要増加、さらに、スマートフォン及び車載カメラ需要を加えたイメージセンサの大幅増加により、全出荷、国内生産ともに増加の見込みである。**センシング・計測分野**は、半導体、FA などの設備投資増、モビリティ用の需要増加などにより、全出荷・国内生産ともに増加となる見込みである。**レーザー・光加工分野**は、生成 AI サーバ用のプリント基板の設備投資継続、プリント基板の穴あけ需要増により、全出荷・国内生産ともにやや増加となる見込みである。**太陽光発電分野**は、政策推進によりシステムの需要は増加傾向であるが、モジュールが減少する影響で、全出荷・国内生産ともに横ばいの見込みである。**ディスプレイ・固体照明分野**は、カーナビ、プロジェクタ及び LED 照明器具などは好調だが、テレビなどが減少し、全体として全出荷・国内生産ともにやや減少の見込みである。**光産業全体**として、全出荷・国内生産ともにやや増加となる見込みである。

—— 2026 年度全出荷（予測）：やや増加 ——

—— 2026 年度国内生産（予測）：やや増加 ——

入出力分野は、イメージセンサの需要継続、デジタルカメラなどの撮像機器の需要継続から、全出荷はやや増加と予測している。**ディスプレイ・固体照明分野**は、テレビ、ディスプレイ素子の減少するものの、カーナビ、プロジェクタ及び LED 照明器具などが需要増加することから、全出荷やや増加、国内生産は横ばいと予測している。**太陽光発電分野**は、政策推進により、需要増加し、全出荷・国内生産ともにやや増加と予測している。**レーザー・光加工分野**は、半導体関連などの設備投資の継続により、全出荷・国内生産ともにやや増加と予測している。**情報通信分野**は、生成 AI 需要拡大によるデータセンタの設備投資継続により、全出荷・国内生産ともにやや増加と予測している。**センシング・計測分野**は、設備投資の継続により、全出荷・国内生産ともにやや増加と予測している。**光産業全体**では全出荷・国内生産ともにやや増加と予測している。

1. 光産業の分類

光産業を、光機器・装置と光部品を合わせて下記の6分野に分類している。

- 1) 情報通信 : 光伝送機器・装置、光ファイバ融着接続機、発光素子、受光素子、光受動部品、光ファイバ、光コネクタなど
- 2) 入出力 : 光学式プリンタ、複合機、撮像機器（デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、車載カメラ、監視カメラ）、カメラ付き携帯電話、タブレット端末、イメージセンサ、光ディスク装置（再生専用装置、記録・再生装置）、光ディスク媒体など
- 3) ディスプレイ・固体照明 : ディスプレイ装置・素子、プロジェクタ、固体照明器具・ランプ、発光ダイオード（照明用、表示用）など
- 4) 太陽光発電 : 太陽光発電システム、太陽電池モジュール
- 5) レーザ・光加工 : レーザ・光応用生産装置、ランプ・LD露光機、アディティブ・マニユファクチャリング（AM：3Dプリンタ）、レーザ発振器
- 6) センシング・計測 : 光センシング機器、光通信用測定器
 - ・ その他の光部品 : 複合光素子など

2. 調査の方法

アンケート調査は、2025年10月に239社に対して調査票を発送、2025年12月から2026年2月に回収することで実施し、70社から回答を得た。

また、太陽光発電分野は一般社団法人太陽光発電協会（JPEA）、固体照明分野は一般社団法人日本照明工業会（JLMA）、ディスプレイ分野は一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）、入出力分野は一般社団法人カメラ映像機器工業会（CIPA）のご協力を得た。

3. 調査結果の概要

3.1 全出荷額調査結果の概要

2024 年度全出荷実績額、2025 年度全出荷見込額、2026 年度全出荷定性予測の調査結果を表 1 に示す。各分野の青色の項目が光機器・装置を表し、茶色が光部品を表している。

また、光産業全出荷額の推移、光産業全出荷額の分野別推移、光産業全出荷額の分野別構成比率推移、光産業全出荷増減額の分野別寄与度推移を図 1～図 4 に示す。

(1) 2024 年度（実績）：12 兆 4,744 億円、成長率+0.4%

2024 年度の光産業全出荷額（実績）は 12 兆 4,744 億円（成長率+0.4%）であった。内、光機器・装置は 8 兆 3,769 億円（成長率+0.3%/構成比 67.2%）、光部品は 4 兆 975 億円（同+0.5%/32.8%）であった。

分野別に見ると、情報通信分野 5,000 億円（成長率+1.1%/構成比 4.0%）、入出力分野 4 兆 6,616 億円（同+4.2%/37.4%）、ディスプレイ・固体照明分野 4 兆 3,280 億円（同▲4.0%/34.7%）、太陽光発電分野 1 兆 5,906 億円（同▲2.3%/12.8%）、レーザ・光加工分野 8,486 億円（同+7.7%/6.8%）、センシング・計測分野 4,732 億円（同+3.8%/3.8%）であった。

(2) 2025 年度（見込）：12 兆 6,413 億円、成長率+1.3%

2025 年度の光産業全出荷額は 12 兆 6,413 億円（成長率+1.3%）の見込みである。内、光機器・装置は 8 兆 5,239 億円（成長率+1.8%/構成比 67.4%）、光部品は 4 兆 1,174 億円（同+0.5%/32.6%）の見込みである。

分野別に見ると、情報通信分野 5,966 億円（成長率+19.3%/構成比 4.7%）、入出力分野 4 兆 8,361 億円（同+3.7%/38.3%）、ディスプレイ・固体照明分野 4 兆 1,828 億円（同▲3.4%/33.1%）、太陽光発電分野 1 兆 5,796 億円（同▲0.7%/12.5%）、レーザ・光加工分野 8,715 億円（同+2.7%/6.9%）、センシング・計測分野 5,019 億円（同+6.1%/4.0%）の見込みである。

(3) 2026 年度（予測）：やや増加

2026 年度の光産業全出荷額は、やや増加と予測している。光機器・装置はやや増加、光部品はやや増加と予測している。

分野別に見ると、全ての分野（情報通信分野、入出力分野、ディスプレイ・固体照明分野、太陽光発電分野、レーザ・光加工分野、センシング・計測分野）において、やや増加と予測している。

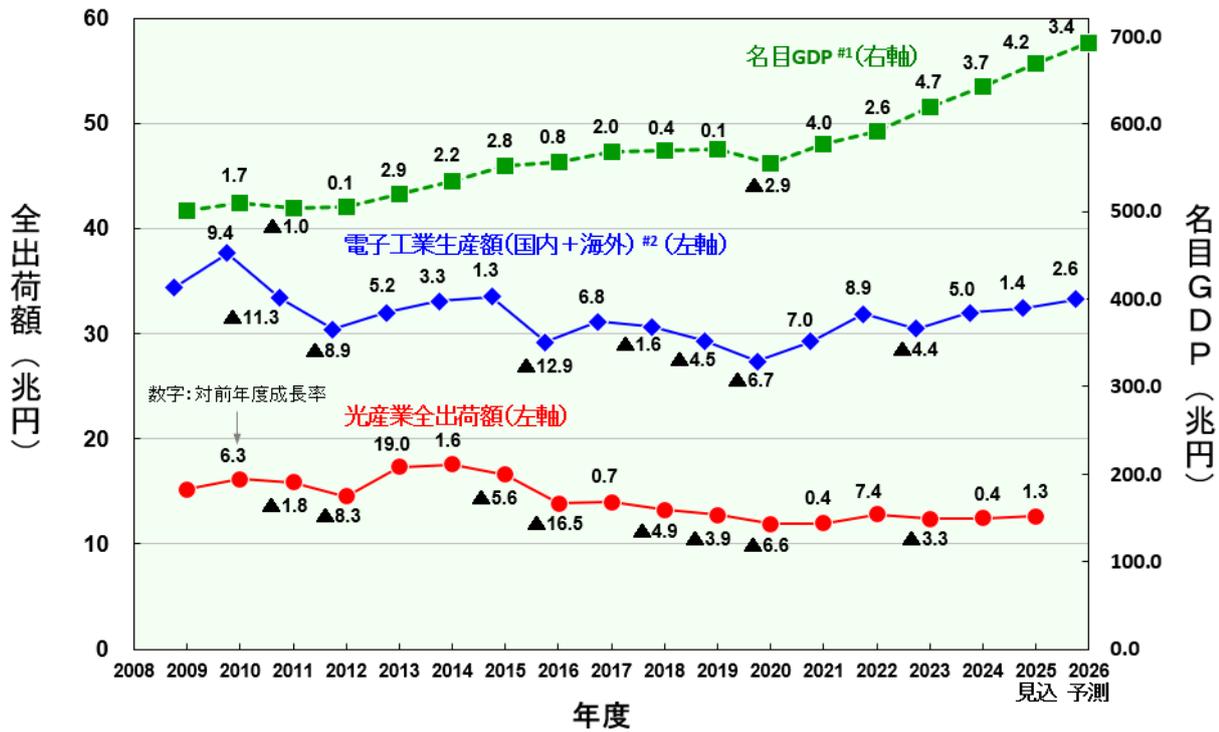
表 1 光産業の全出荷額

(各分野の集計値は■：光機器・装置と■：光部品とを単純合計したもの。単位：億円、%)

項目	2023年度実績	成長率	2024年度実績	成長率	2025年度見込	成長率	2026年度予測
情報通信分野	4,946	▲14.4	5,000	1.1	5,966	19.3	やや増加
光伝送機器・装置	1,867	▲6.9	1,518	▲18.7	1,772	16.7	横ばい
幹線・メトロ系	733	▲28.5	660	▲10.0	800	21.2	横ばい
加入者系	609	17.8	419	▲31.2	466	11.2	横ばい
ルータ/スイッチ	332	26.2	290	▲12.7	306	5.5	横ばい
光ファイバ増幅器	193	▲4.0	149	▲22.8	200	34.2	増加
光伝送用部品	2,871	▲18.6	3,267	13.8	3,982	21.9	増加
光伝送リンク	271	▲24.9	219	▲19.2	225	2.7	横ばい
発光素子	656	▲15.8	764	16.5	944	23.6	増加
受光素子	67	▲25.6	76	13.4	110	44.7	やや増加
光受動部品	168	▲18.8	196	16.7	236	20.4	やや増加
光回路部品	135	▲35.7	161	19.3	164	1.9	横ばい
光ファイバ	1,046	▲18.9	1,085	3.7	1,403	29.3	増加
光コネクタ	349	▲5.9	542	55.3	685	26.4	やや増加
その他(半導体増幅素子, 光IC等)	179	▲19.0	224	25.1	215	▲4.0	横ばい
光ファイバ融着接続機	208	▲13.3	215	3.4	212	▲1.4	横ばい
入出力分野(情報記録含む)	44,715	3.8	46,616	4.2	48,361	3.7	やや増加
入出力装置	24,131	1.6	24,869	3.1	25,689	3.3	やや増加
プリンタ・複合機	7,639	4.9	8,218	7.6	8,245	0.3	横ばい
撮像機器	10,553	6.3	11,602	9.9	12,267	5.7	やや増加
デジタルカメラ・デジタルビデオカメラ	8,413	5.4	9,339	11.0	9,915	6.2	やや増加
車載カメラ・監視カメラ	2,140	10.1	2,263	5.7	2,352	3.9	やや増加
カメラ付き携帯電話	5,316	▲10.1	4,442	▲16.4	4,547	2.4	やや減少
その他(タブレット, バーコードリーダー, イメージスキャナ, 等)	623	▲1.3	607	▲2.6	630	3.8	やや減少
イメージセンサ	16,282	13.1	18,177	11.6	20,095	10.6	やや増加
光ディスク	4,239	▲13.3	3,570	▲15.8	2,577	▲27.8	減少
光ディスク装置	4,093	▲13.1	3,433	▲16.1	2,445	▲28.8	減少
再生専用装置	2,833	▲12.5	2,367	▲16.4	1,683	▲28.9	減少
記録・再生装置	1,260	▲14.3	1,066	▲15.4	762	▲28.5	減少
光ディスク媒体	146	▲18.4	137	▲6.2	132	▲3.6	やや減少
光ディスク用半導体レーザー	63	1.6	0	▲100.0	—	—	—
ディスプレイ・固体照明分野	45,080	▲4.8	43,280	▲4.0	41,828	▲3.4	やや増加
ディスプレイ装置	23,053	▲3.6	23,076	0.1	22,990	▲0.4	やや増加
フラットパネルディスプレイ(LCD等)	18,101	▲5.9	17,973	▲0.7	17,636	▲1.9	横ばい
大型LEDディスプレイ装置	188	5.6	196	4.3	202	3.1	やや増加
プロジェクタ	4,764	6.0	4,907	3.0	5,152	5.0	やや増加
ディスプレイ素子	10,824	▲16.0	9,154	▲15.4	7,105	▲22.4	減少
固体照明器具・ランプ	7,649	4.1	7,632	▲0.2	8,212	7.6	増加
LED照明器具	7,224	4.3	7,229	0.1	7,787	7.7	増加
LEDランプ(直管LEDランプを含む)	425	1.7	403	▲5.2	425	5.5	やや増加
発光ダイオード	3,554	10.1	3,418	▲3.8	3,521	3.0	増加
太陽光発電分野	16,278	▲10.5	15,906	▲2.3	15,796	▲0.7	やや増加
太陽光発電システム	10,750	▲11.6	10,592	▲1.5	11,067	4.5	やや増加
太陽電池モジュール	5,528	▲8.3	5,314	▲3.9	4,729	▲11.0	やや増加
レーザー・光加工分野	7,877	▲11.0	8,486	7.7	8,715	2.7	やや増加
レーザー・光応用生産装置	7,082	▲9.7	7,565	6.8	7,701	1.8	やや増加
炭酸ガスレーザー	449	▲45.4	457	1.8	727	59.1	やや増加
固体レーザー	755	▲0.3	991	31.3	977	▲1.4	やや増加
ファイバレーザー	763	2.4	769	0.8	830	7.9	やや増加
半導体レーザー直接加工機	28	0.0	30	7.1	30	0.0	横ばい
エキシマレーザー	2,498	29.9	1,458	▲41.6	1,325	▲9.1	やや増加
ランプ・LD露光機	2,464	▲28.7	3,687	49.6	3,634	▲1.4	やや増加
アディティブ・マニファクチャリング(3Dプリンタ)	125	13.6	173	38.4	178	2.9	やや増加
レーザー発振器	795	▲21.1	921	15.8	1,014	10.1	やや増加
センシング・計測分野	4,557	9.2	4,732	3.8	5,019	6.1	やや増加
光センシング機器	4,417	9.9	4,547	2.9	4,821	6.0	やや増加
光通信用測定器	140	▲9.7	185	32.1	198	7.0	増加
その他の光部品分野	849	▲18.7	724	▲14.7	728	0.6	やや減少
項目	2023年度実績	成長率	2024年度実績	成長率	2025年度見込	成長率	2026年度予測
光機器・装置 小計	83,536	▲3.2	83,769	0.3	85,239	1.8	やや増加
光部品 小計	40,766	▲3.3	40,975	0.5	41,174	0.5	やや増加
合計	124,302	▲3.3	124,744	0.4	126,413	1.3	やや増加

太陽光発電分野において、システムに部品として含まれる太陽電池モジュールが重複しないよう合計した全出荷額は次の通りである。

項目	2023年度実績	成長率	2024年度実績	成長率	2025年度見込	成長率	2026年度予測
太陽光発電分野	10,750	▲11.6	10,859	1.0	11,107	2.3	やや増加



#1 内閣府：2024年度国民経済計算年次推計／令和8年度経済見通し（2026年1月23日閣議決定）
 #2 JEITA：電子情報産業の世界生産見通し（2025年12月）

図1 光産業全出荷額、名目GDP、電子工業国内生産額+海外生産額の推移

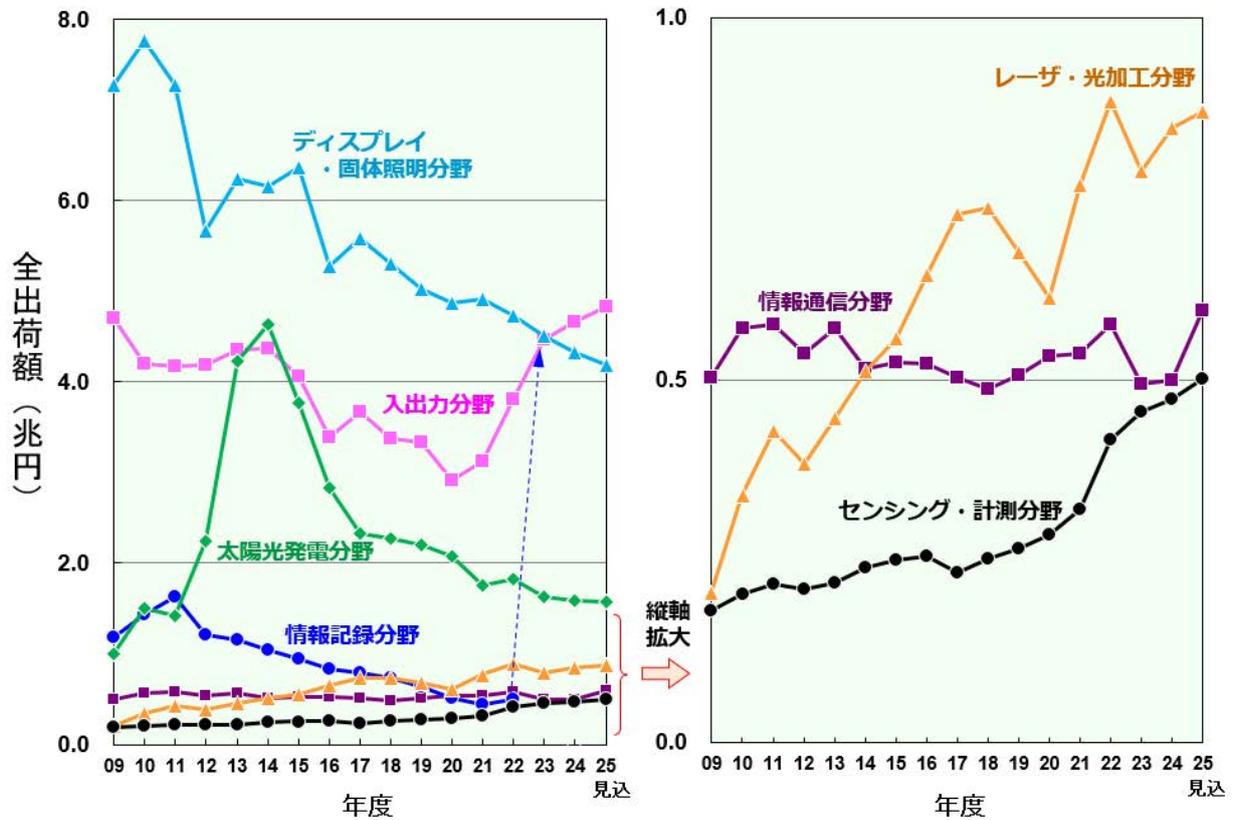


図2 光産業全出荷額の分野別推移

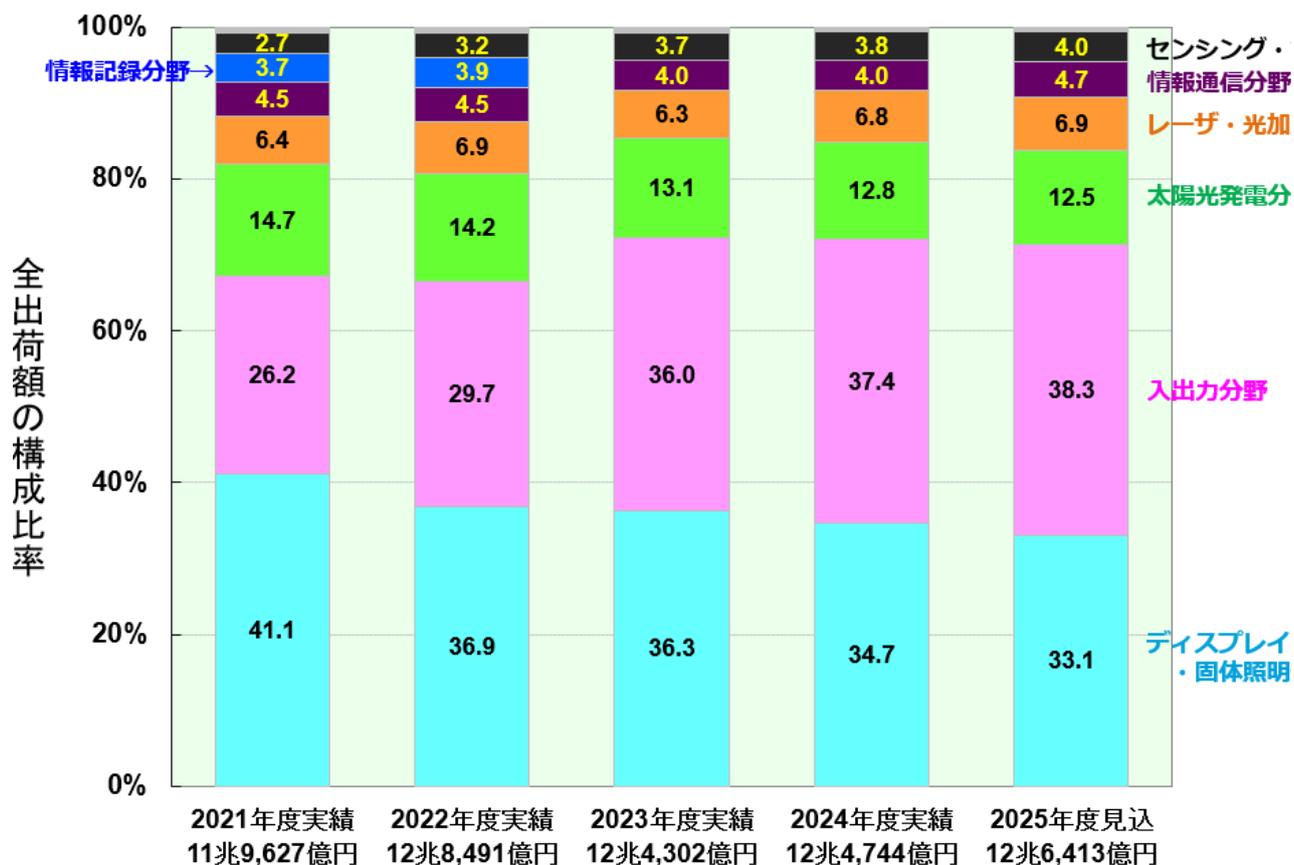


図3 光産業全出荷額の分野別構成比率推移

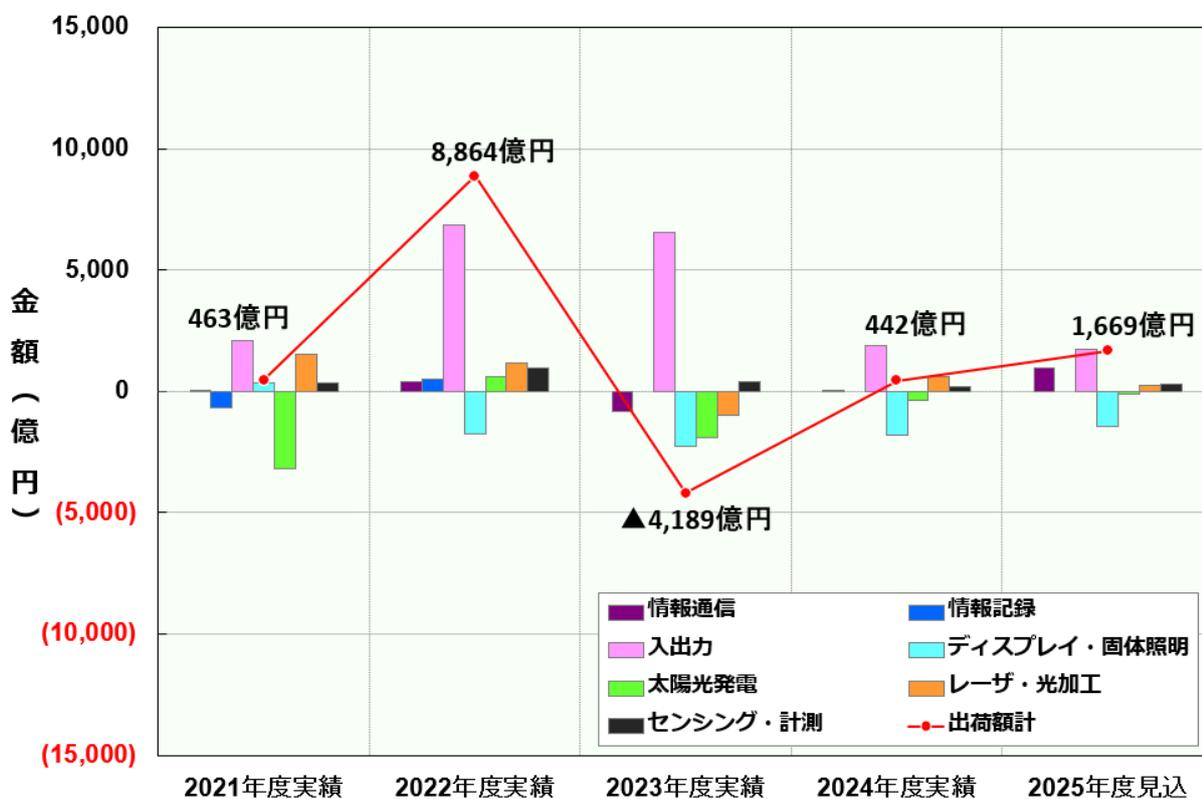


図4 光産業全出荷増減額の分野別寄与度推移

3.2 国内生産額調査結果の概要

2024年度国内生産実績額、2025年度国内生産見込額、2026年度国内生産定性予測の調査結果を表2に示す。各分野の青色の項目が光機器・装置を表し、茶色が光部品を表している。

また、光産業国内生産額の推移、光産業国内生産額の分野別推移、光産業国内生産額の分野別構成比率推移、光産業国内生産増減額の分野別寄与度推移を図5～図8に示す。

(1) 2024年度（実績）：5兆9,556億円、成長率+0.3%

2024年度の光産業国内生産額（実績）は5兆9,556億円（成長率+0.3%）であった。内、光機器・装置は3兆5,616億円（成長率▲0.1%/構成比59.8%）、光部品は2兆3,940億円（同+0.8%/40.2%）であった。

分野別に見ると、情報通信分野3,820億円（成長率+1.0%/構成比6.4%）、入出力分野1兆4,211億円（同+9.7%/23.9%）、ディスプレイ・固体照明分野1兆8,348億円（同▲7.3%/30.8%）、太陽光発電分野1兆820億円（同▲1.8%/18.2%）、レーザー・光加工分野8,177億円（同+7.7%/13.7%）、センシング・計測分野3,530億円（同+2.1%/5.9%）であった。

(2) 2025年度（見込）：6兆1,069億円、成長率+2.5%

2025年度の光産業国内生産額は6兆1,069億円（成長率+2.5%）の見込みである。内、光機器・装置は3兆7,317億円（成長率+4.8%/構成比61.1%）、光部品は2兆3,752億円（同▲0.8%/38.9%）の見込みである。

分野別に見ると、情報通信分野4,648億円（成長率+21.7%/構成比7.6%）、入出力分野1兆5,198億円（同+6.9%/24.9%）、ディスプレイ・固体照明分野1兆7,127億円（同▲6.7%/28.0%）、太陽光発電分野1兆1,249億円（同+4.0%/18.4%）、レーザー・光加工分野8,410億円（同+2.8%/13.8%）、センシング・計測分野3,784億円（同+7.2%/6.2%）の見込みである。

(3) 2026年度（予測）：やや増加

2026年度の光産業国内生産額は、やや増加と予測している。光機器・装置はやや増加、光部品はやや増加と予測している。

分野別に見ると、情報通信分野、入出力分野、太陽光発電分野、レーザー・光加工分野、センシング・計測分野はやや増加、ディスプレイ・固体照明は横ばいと予測している。

表2 光産業の国内生産額

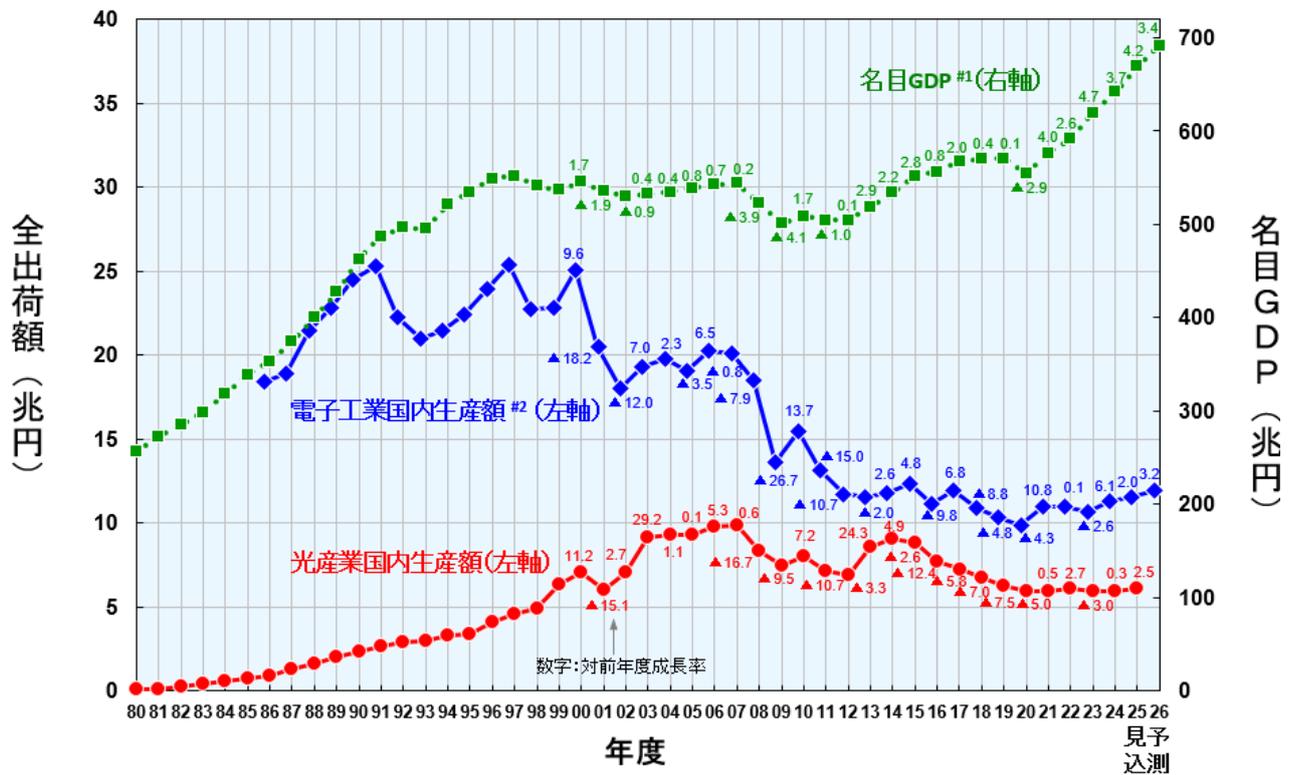
(各分野の集計値は 光機器・装置と 光部品とを単純合計したもの。単位: 億円, %)

項目	2023年度実績	成長率	2024年度実績	成長率	2025年度見込	成長率	2026年度予測
情報通信分野	3,781	▲13.9	3,820	1.0	4,648	21.7	やや増加
光伝送機器・装置	1,629	▲7.3	1,305	▲19.9	1,544	18.3	横ばい
幹線・メトロ系	698	▲29.6	646	▲7.4	772	19.5	横ばい
加入者系	605	28.7	412	▲31.9	459	11.4	横ばい
ルータ/スイッチ	163	30.4	121	▲25.8	144	19.0	横ばい
光ファイバ増幅器	163	▲5.2	126	▲22.7	169	34.1	増加
光伝送用部品	1,952	▲18.4	2,307	18.2	2,898	25.6	増加
光伝送リンク	100	▲44.8	106	6.0	131	23.6	横ばい
発光素子	361	▲2.7	433	19.9	533	23.1	増加
受光素子	36	2.9	36	0.0	55	52.8	やや増加
光受動部品	118	▲20.8	143	21.2	169	18.2	やや増加
光回路部品	75	▲49.7	71	▲5.3	74	4.2	横ばい
光ファイバ	870	▲20.5	924	6.2	1,243	34.5	増加
光コネクタ	237	▲4.4	404	70.5	522	29.2	やや増加
その他(半導体増幅素子, 光IC等)	155	▲6.1	190	22.6	171	▲10.0	やや減少
光ファイバ融着接続機	200	▲16.7	208	4.0	206	▲1.0	横ばい
入出力分野(情報記録含む)	12,952	15.3	14,211	9.7	15,198	6.9	やや増加
入出力装置	3,522	▲15.4	3,822	8.5	3,912	2.4	やや増加
プリンタ・複合機	816	▲13.0	1,042	27.7	1,078	3.5	横ばい
撮像機器	2,506	4.9	2,590	3.4	2,636	1.8	やや増加
デジタルカメラ・デジタルビデオカメラ	1,908	6.1	1,954	2.4	1,990	1.8	やや増加
車載カメラ・監視カメラ	598	1.4	636	6.4	646	1.6	横ばい
カメラ付き携帯電話	0	▲100.0	—	—	—	—	—
その他(タブレット, バーコードリーダー, イメージスキャナ, 等)	200	▲15.6	190	▲5.0	198	4.2	横ばい
イメージセンサ	9,228	35.8	10,259	11.2	11,169	8.9	やや増加
光ディスク	180	▲21.4	130	▲27.8	117	▲10.0	やや減少
光ディスク用半導体レーザ	22	▲4.3	0	▲100.0	—	—	—
ディスプレイ・固体照明分野	19,787	▲3.4	18,348	▲7.3	17,127	▲6.7	横ばい
ディスプレイ装置	3,771	10.1	3,458	▲8.3	3,567	3.2	やや増加
フラットパネルディスプレイ(LCD等)	3,455	9.6	3,132	▲9.3	3,228	3.1	やや増加
大型LEDディスプレイ装置	188	5.6	196	4.3	202	3.1	やや増加
プロジェクタ	128	32.0	130	1.6	137	5.4	やや増加
ディスプレイ素子	8,351	▲16.6	7,252	▲13.2	5,392	▲25.6	減少
固体照明器具・ランプ	5,345	6.3	5,305	▲0.7	5,711	7.7	増加
LED照明器具	5,272	6.4	5,236	▲0.7	5,641	7.7	増加
LEDランプ(直管LEDランプを含む)	73	▲3.9	69	▲5.5	70	1.4	横ばい
発光ダイオード	2,320	14.3	2,333	0.6	2,457	5.3	増加
太陽光発電分野	11,021	▲12.7	10,820	▲1.8	11,249	4.0	やや増加
太陽光発電システム	10,701	▲11.9	10,564	▲1.3	11,042	4.5	やや増加
太陽電池モジュール	320	▲33.1	256	▲20.0	207	▲19.1	横ばい
レーザ・光加工分野	7,592	▲9.5	8,177	7.7	8,410	2.8	やや増加
レーザ・光応用生産装置	6,831	▲7.8	7,294	6.8	7,434	1.9	やや増加
炭酸ガスレーザ	449	▲45.4	456	1.6	727	59.4	やや増加
固体レーザ	734	0.4	963	31.2	959	▲0.4	やや増加
ファイバレーザ	625	5.6	652	4.3	708	8.6	やや増加
半導体レーザ直接加工機	28	0.0	30	7.1	30	0.0	横ばい
エキシマレーザ	2,462	28.4	1,358	▲44.8	1,225	▲9.8	やや増加
ランプ・LD露光機	2,464	▲24.3	3,687	49.6	3,634	▲1.4	やや増加
アディティブ・マニュファクチャリング(3Dプリンタ)	69	13.1	148	114.5	151	2.0	やや増加
レーザ発振器	761	▲22.2	883	16.0	976	10.5	やや増加
センシング・計測分野	3,457	9.6	3,530	2.1	3,784	7.2	やや増加
光センシング機器	3,335	10.7	3,356	0.6	3,599	7.2	やや増加
光通信用測定器	122	▲12.9	174	42.6	185	6.3	増加
その他の光部品分野	786	▲18.5	650	▲17.3	653	0.5	やや減少

項目	2023年度実績	成長率	2024年度実績	成長率	2025年度見込	成長率	2026年度予測
光機器・装置 小計	35,636	▲5.1	35,616	▲0.1	37,317	4.8	やや増加
光部品 小計	23,740	0.3	23,940	0.8	23,752	▲0.8	やや増加
合計	59,376	▲3.0	59,556	0.3	61,069	2.5	やや増加

太陽光発電分野において、システムに部品として含まれる太陽電池モジュールが重複しないよう合計した国内生産額は次の通りである。

項目	2023年度実績	成長率	2024年度実績	成長率	2025年度見込	成長率	2026年度予測
太陽光発電分野	10,701	▲11.9	10,578	▲1.1	11,044	4.4	やや増加



#1 内閣府：2024年度国民経済計算年次推計／令和8年度経済見通し（2026年1月23日閣議決定）

#2 JEITA：電子情報産業の世界生産見通し（2025年12月）

図5 光産業国内生産額、名目GDP及び電子工業国内生産額の推移

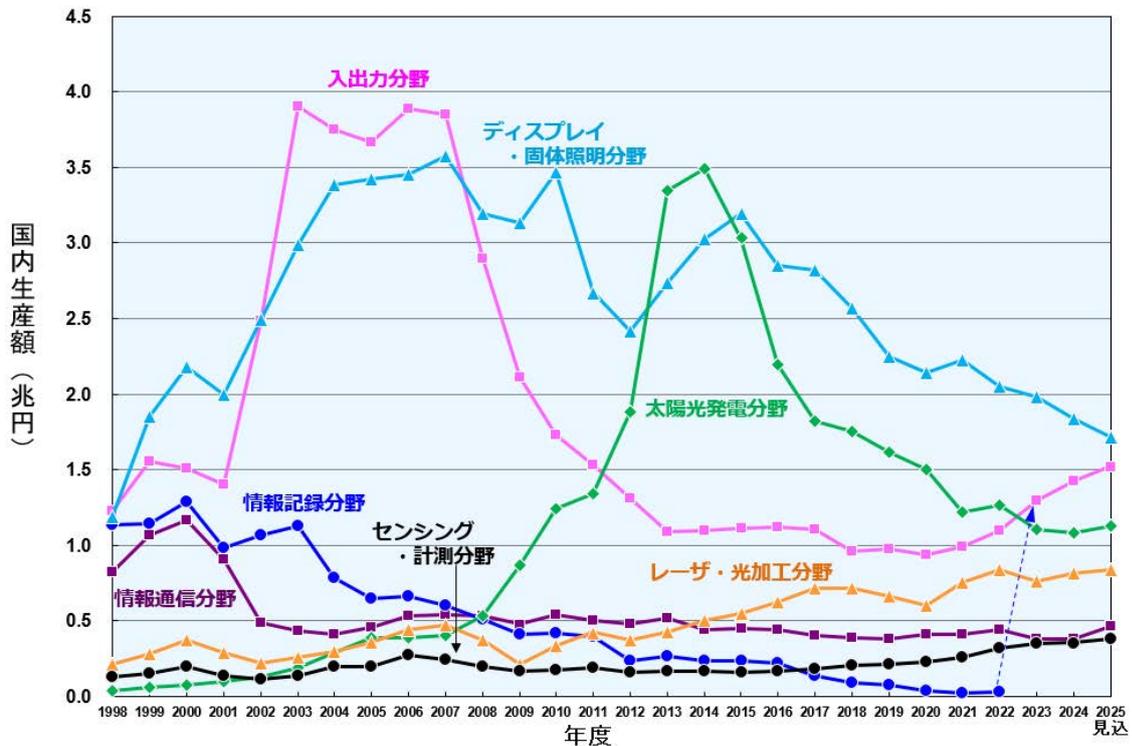


図6 光産業国内生産額の分野別推移

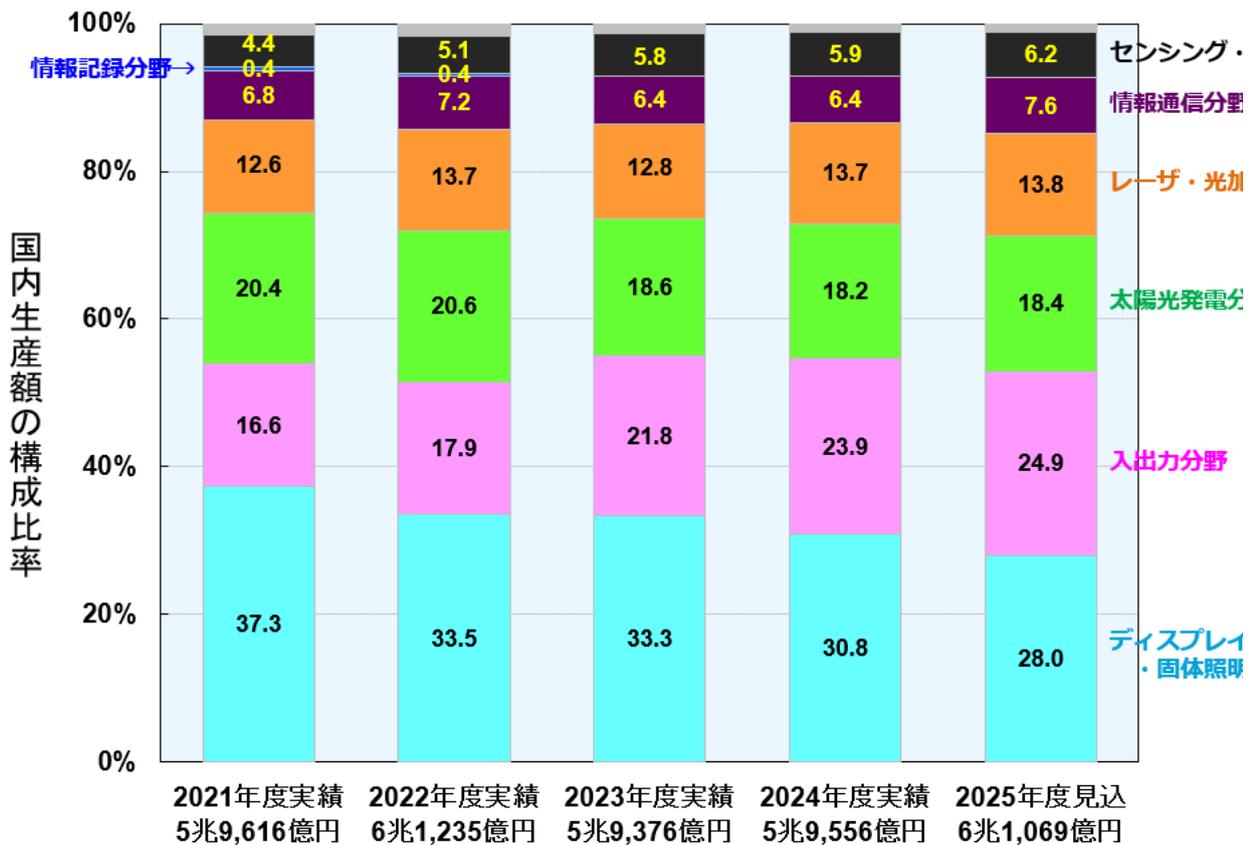


図7 光産業国内生産額の分野別構成比率推移



図8 光産業国内生産増減額の分野別寄与度推移

3.3 (全出荷－国内生産) / 全出荷) の推移

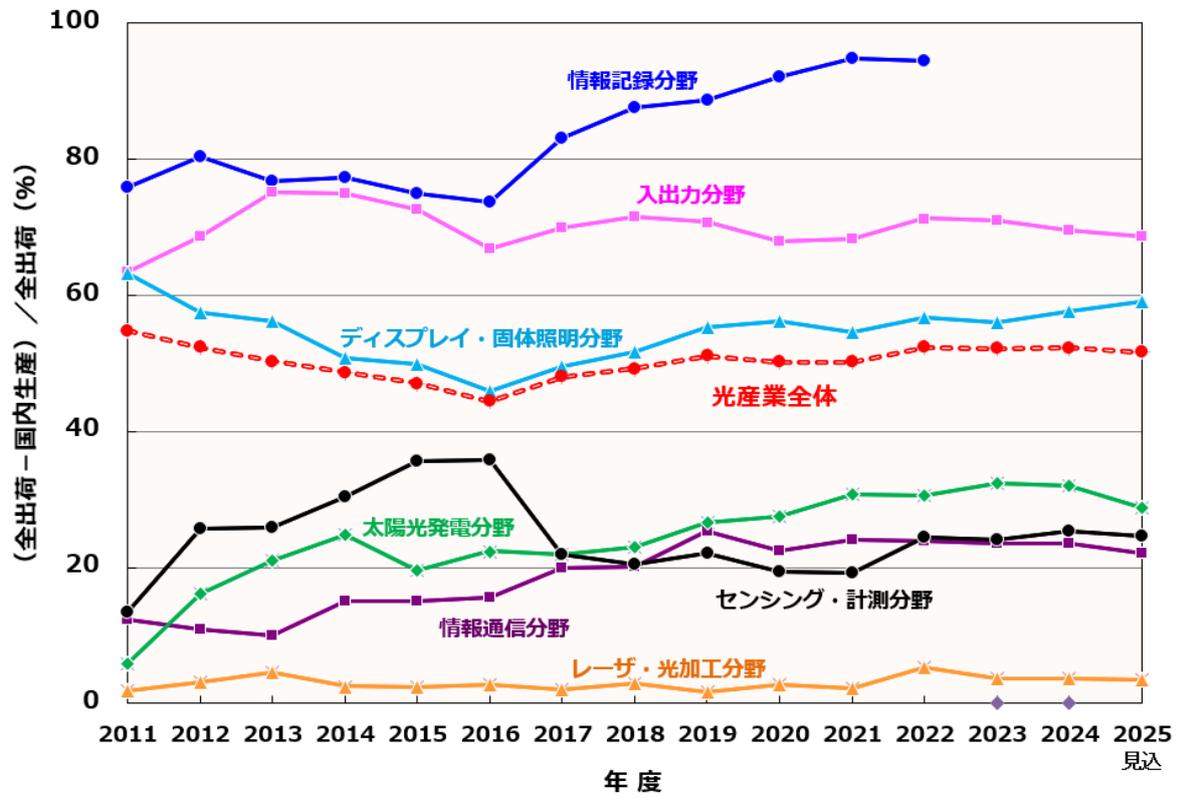


図9 【(全出荷－国内生産) / 全出荷】の推移

4. 調査結果寸評

2024年度実績、2025年度見込み、2026年度予測の調査結果に対し、分野別の寸評を次に示す。

4.1 2024年度の実績

全出荷額（実績）：12兆4,744億円、成長率+0.4%

国内生産額（実績）：5兆9,556億円、成長率+0.3%

入出力分野は、高機能化及び動画撮影の増加によるデジタルカメラの需要増加、さらに、スマートフォン及び車載カメラ需要を加えたイメージセンサの大幅増加により、全出荷、国内生産ともに増加となった。**レーザー・光加工分野**は、エキシマレーザーが前年度の反動により大幅減少するが、生成AIなどの需要増加により、ランプ・LD露光機は大幅増加し、全出荷・国内生産ともに増加となった。**センシング・計測分野**は、半導体、FAなどの設備投資継続により、全出荷・国内生産ともにやや増加となった。**情報通信分野**は、生成AI需要拡大によるデータセンタ設備投資増により、光コネクタなどの光伝送用部品が大幅増加するものの、光伝送機器・装置の設備投資が大幅減少したため、全出荷・国内生産とも横ばいとなった。**太陽光発電分野**は、新規事業が伸長せず、全出荷・国内生産ともにやや減少となった。**ディスプレイ・固体照明分野**は、テレビ、ディスプレイ素子などが減少し、全出荷・国内生産ともに減少となった。**光産業全体**として、全出荷・国内生産ともに横ばいとなった。

(1) 情報通信分野

- ・**光伝送機器・装置**：前年度からの設備投資抑制が継続し、幹線メトロ系は、全出荷▲10.0%、国内生産▲7.4%に減少となった。加入者系は、前年度の反動により、全出荷▲31.2%、国内生産▲31.9%の大幅減少となった。光伝送機器・装置全体として、全出荷▲18.7%、国内生産▲19.9%の大幅減少となった。
- ・**光伝送用部品**：生成AI需要拡大によるデータ処理量増大に伴うデータセンタの設備投資増により、光コネクタは、全出荷+55.3%、国内生産+70.5%（特に、シングルモード用多心コネクタが全出荷+244.6%、国内出荷+243.1%）の大幅増加、光ファイバは、全出荷+3.7%、国内生産+6.2%の増加となった。発光/受光素子、光受動部品、光回路部品は、全出荷は2桁増加になった。光伝送用部品全体として、全出荷+13.8%、国内生産+18.2%の大幅増加となった。

(2) 入出力分野

- ・**プリンタ・複合機**：高機能な複合機の需要増加、及び国内での高機能機種生産増加となり、全出荷+7.6%、国内生産+27.7%の増加となった。
- ・**撮像機器**：デジタルカメラ・デジタルビデオカメラは、高機能化、ラインナップの充実、SNS等での動画撮影の増加によりミラーレス一眼デジタルカメラの需要が増え、また、高機能機種の登場、レトロ画調人気などによりコンパクトカメラの需要が好調で、全出荷+11.0%の大幅増加となった。車載カメラ・監視カメラは、ADAS（先進運転支援システム）の搭載及び搭載台数の増加により車載カメラの需要が増え、また、省人化ソリューションとして監視カメラの需要が好調で、全出荷+5.7%、国内生産+6.4%の増加となった。

- ・ **カメラ付き携帯電話**：海外ベンダの勢力が強くなり、全出荷▲16.4%の大幅減少となった。国内生産はほとんどない。
- ・ **イメージセンサ**：デジタルカメラ、スマートフォン及び車載カメラなどの需要が増加、また、高機能化、積層化の進展により単価上昇し、全出荷+11.6%、国内生産+11.2%の大幅増加となった。
- ・ **光ディスク装置**：光ディスク装置全体として、全出荷▲15.8%の減少となった。なお、海外生産への移行が進み、民生用の国内生産はほとんどない。
- ・ **光ディスク媒体**：全出荷▲6.2%の減少となり、国内生産はほとんどない。

(3) ディスプレイ・固体照明分野

- ・ **ディスプレイ装置**：フラットパネルディスプレイは、テレビが減少傾向にあるものの、ゲーミングやパブリック用途のモニタなどの需要増加により、全出荷▲0.7%の横ばいとなった。プロジェクタは、ホームシアター市場などの需要が継続し、全出荷+3.0%、国内生産+1.6%のやや増加となった。ディスプレイ装置全体として、全出荷+0.1%の横ばい、国内生産▲8.3%の減少となった。
- ・ **ディスプレイ素子**：液晶ディスプレイ素子、有機 EL ディスプレイ素子の海外メーカーとの競争が厳しく、ディスプレイ素子全体として、全出荷▲15.4%、国内生産▲13.2%の大幅減少となった。特筆すべき事項として、金額は少ないものの、マイクロ OLED は、AR、VR への需要増加により、大幅増加（全出荷、国内生産ともに+33.4%）となった。
- ・ **固体照明器具・ランプ**：LED 照明器具は、全出荷▲0.2%、国内生産▲0.7%の横ばいとなった。
- ・ **発光ダイオード**：固体照明器具・装置、カーナビ及びプロジェクタなどの需要はあるものの、全出荷▲3.8%のやや減少、国内生産+0.6%の横ばいとなった。

(4) 太陽光発電分野

- ・ **太陽光発電システム**：新規事業が伸長せず、全出荷▲1.5%、国内生産▲1.3%のやや減少となった。
- ・ **太陽電池モジュール**：太陽光発電システムの低迷に伴い、全出荷▲3.9%のやや減少となった。なお、国内生産はほとんどない。

(5) レーザ・光加工分野

- ・ **レーザ・光応用生産装置**：炭酸ガスレーザは、スマートフォンや PC などのプリント基板穴あけの需要継続により、全出荷+1.8%、国内生産+1.6%のやや増加、固体レーザは、半導体製造工程での切断用途の需要増加により全出荷+31.3%、国内生産+31.2%の大幅増加、ファイバレーザは、切断・溶接用途の需要継続によ

り、全出荷+0.8%、国内生産+4.3%のやや増加、エキシマレーザは、前年度増加の反動に加え、メモリ市場低迷により、全出荷は▲41.6%、国内生産は▲44.8%の大幅減少となった。ランプ・LD 露光機は、生成 AI サーバなどのプリント基板の設備投資増加により、全出荷・国内生産ともに+49.6%の大幅増加となった。エキシマレーザとランプ・LD 露光機は、長期的に見れば、海外及び国内半導体メーカ向けの需要継続により緩やかに増加している。レーザ・光応用生産装置全体として、全出荷、国内生産ともに+6.8%の増加となった。

- ・ **レーザ発振器**：レーザ応用生産装置の増加に伴い、全出荷+15.8%、国内生産+16.0%の大幅増加となった。

(6) センシング・計測分野

- ・ **光センシング機器**：半導体、FA などの設備投資継続を背景に、ウェハ検査装置、FA 用画像センシング機器が堅調、ADAS（先進運転支援システム）のセンサであるレーザレーダ・距離画像センサが、モビリティ分野全般への需要増加、高齢者や眼疾患患者の増加傾向にある眼科用光測定器が需要継続により、光センシング機器全体として、全出荷+2.9%のやや増加となった。
- ・ **光通信用測定器**：生成 AI 需要拡大によるデータセンタの設備投資増により、全出荷+32.1%、国内生産+42.6%の大幅増加となった。

4.2 2025 年度の見込

全出荷額（見込）：12兆6,413億円、成長率+1.3%

国内生産額（見込）：6兆1,069億円、成長率+2.5%

情報通信分野は、生成 AI 需要拡大によるデータセンタ設備投資増により、光ファイバ、光コネクタ及び発光/受光素子、光受動部品が大幅増加、400 Gb/s 超の装置導入などが加速し、光伝送機器・装置が大幅増加となり、全出荷・国内生産ともに大幅増加の見込みである。**入出力分野**は、高機能化及び動画撮影の増加によるデジタルカメラの需要増加、さらに、スマートフォン及び車載カメラ需要を加えたイメージセンサの大幅増加により、全出荷、国内生産ともに増加の見込みである。**センシング・計測分野**は、半導体、FA などの設備投資増、モビリティ用の需要増加などにより、全出荷・国内生産ともに増加となる見込みである。**レーザ・光加工分野**は、生成 AI サーバ用のプリント基板の設備投資継続、プリント基板の穴あけ需要増により、全出荷・国内生産ともにやや増加となる見込みである。**太陽光発電分野**は、政策推進によりシステムの需要は増加傾向であるが、モジュールが減少する影響で、全出荷・国内生産ともに横ばいの見込みである。**ディスプレイ・固体照明分野**は、カーナビ、プロジェクタ及び LED 照明器具などは好調だが、テレビなどが減少し、全体として全出荷・国内生産ともにやや減少の見込みである。**光産業全体**として、全出荷・国内生産ともにやや増加となる見込みである。

(1) 情報通信分野

- ・**光伝送機器・装置**：400 Gb/s 装置導入の加速、及び 800 Gb/s 装置導入が始まり、幹線メトロ系は、全出荷+21.2%、国内生産+19.5%の大幅増加、加入者系は、10 Gb/s への置き換え増加により、全出荷+11.2%、国内生産+11.4%の大幅増加の見込みである。光伝送機器・装置全体として、全出荷+16.7%、国内生産+18.3%の大幅増加となる見込みである。
- ・**光伝送用部品**：生成 AI 需要拡大によるデータ処理量増大に伴うデータセンタの設備投資増により、光ファイバは、全出荷+29.3%、国内生産+34.5%の大幅増加の見込み、光コネクタは、全出荷+26.4%、国内生産+29.2%（特に、シングルモード用多心コネクタが全出荷+52.7%、国内出荷ともに+52.9%）の大幅増加、発光/受光素子、光受動部品は、全出荷 20%以上の大幅増加となった。光伝送用部品全体として、全出荷+21.9%、国内生産+25.6%の大幅増加となる見込みである。

(2) 入出力分野

- ・**プリンタ・複合機**：複合機の需要が継続し、全出荷+0.3%、国内生産+3.5%の横ばいとなる見込みである。
- ・**撮像機器**：デジタルカメラ・デジタルビデオカメラは、高機能化、ラインナップの充実、SNS 等での動画撮影の増加によりミラーレス一眼デジタルカメラなどの需要が増え、また、高機能機種が登場、レトロ画調人気などによりコンパクトカメラの需要が好調で、全出荷+6.2%の増加の見込みである。車載カメラ・監視カメラは、ADAS（先進運転支援システム）の搭載及び搭載台数の増加により車載カメラの需要が継続、また、省人化ソリューションとして監視カメラの需要が継続し、全出荷+3.9%、国内生産+1.6%のやや増加となる見込みである。

- ・ **カメラ付き携帯電話**：海外ベンダの勢力が強いが、3G 停波による更新需要があり、全出荷+2.4%のやや増加となる見込みである。国内生産はほとんどない。
- ・ **イメージセンサ**：デジタルカメラ、スマートフォン及び車載カメラなどの需要が増加、また、高機能化、積層化の進展により単価上昇し、全出荷+10.6%、国内生産+8.9%の大幅増加となる見込みである。
- ・ **光ディスク装置**：光ディスク装置全体として、全出荷▲27.8%の大幅減少となる見込みである。なお、海外生産への移行が進み、民生用の国内生産はほとんどない。
- ・ **光ディスク媒体**：全出荷▲3.6%のやや減少の見込みである。なお、国内生産はほとんどない。

(3) ディスプレイ・固体照明分野

- ・ **ディスプレイ装置**：フラットパネルディスプレイは、テレビが減少傾向にあるものの、モニタ、カーナビなどの需要継続により、全出荷▲1.9%のやや減少、国内生産+3.1%のやや増加となる見込みである。プロジェクタは、ホームシアター市場などの需要が堅調で、全出荷+5.0%、国内生産+5.4%の増加となる見込みである。ディスプレイ装置全体として、全出荷▲0.4%の横ばい、国内生産+3.2%のやや増加となる見込みである。
- ・ **ディスプレイ素子**：液晶ディスプレイ素子、有機 EL ディスプレイ素子の海外メーカーとの競争が厳しく、ディスプレイ素子全体として、全出荷▲22.4%、国内生産▲25.6%の大幅減少となる見込みである。
- ・ **固体照明器具・ランプ**：LED 照明器具は、2027 年末に一般照明用蛍光灯の製造と輸出入が禁止となる影響により需要が増加し、全出荷+7.6%、国内生産+7.7%の増加となる見込みである。
- ・ **発光ダイオード**：固体照明器具・装置、カーナビ及びプロジェクタなどの需要継続により、全出荷+3.0%、国内生産+5.3%ともにやや増加となる見込みである。

(4) 太陽光発電分野

- ・ **太陽光発電システム**：政策（第 7 次エネルギー基本計画、建物省エネ義務化など）推進により設置が進み、全出荷+4.5%のやや増加となる見込みである。
- ・ **太陽電池モジュール**：材料高騰などによる単価上昇の影響により、全出荷▲11.0%の減少となる見込みである。なお、国内生産はほとんどない。

(5) レーザ・光加工分野

- ・ **レーザ・光応用生産装置**：炭酸ガスレーザは、生成 AI 需要拡大による生成 AI サーバ用プリント基板の穴あけ需要が増加し、全出荷+59.1%、国内生産+59.4%の大幅増加、固体レーザは、半導体製造工程での切断用途の需要継続により全出荷▲1.4%、国内生産▲0.4%の横ばい、ファイバレーザは、切断・溶接用途の増加よ

り、全出荷+7.9%、国内生産+8.6%の増加、エキシマレーザーは、メモリ市場低迷により、全出荷は▲9.1%、国内生産は▲9.8%の減少となる見込みである。ランプ・LD 露光機は、生成 AI サーバなどのプリント基板の設備投資が継続し、全出荷・国内生産ともに▲1.4%のやや減少となる見込み。レーザー・光応用生産装置全体として、全出荷+1.8%、国内生産+1.9%のやや増加の見込みである。

- ・ **レーザー発振器**：レーザー応用生産装置の増加に伴い、全出荷+10.1%、国内生産+10.5%の増加となる見込みである。

(6) センシング・計測分野

- ・ **光センシング機器**：半導体、FA などの設備投資増を背景に、ウェハ検査装置、FA 用画像センシング機器が堅調、ADAS（先進運転支援システム）のセンサであるレーザーレーダ・距離画像センサが、モビリティ分野全般への需要拡大により、光センシング機器全体として、全出荷+6.0%、国内生産+7.2%の増加となる見込みである。
- ・ **光通信用測定器**：生成 AI 需要拡大によるデータセンタの設備投資増により、全出荷+7.0%、国内生産+6.3%の増加となる見込みである。

4.3 2026年度の予測

全出荷（予測）：やや増加

国内生産額（予測）：やや増加

入出力分野は、イメージセンサの需要継続、デジタルカメラなどの撮像機器の需要継続から、全出荷はやや増加と予測している。**ディスプレイ・固体照明分野**は、テレビ、ディスプレイ素子の減少するものの、カーナビ、プロジェクタ及びLED照明器具などが需要増加することから、全出荷やや増加、国内生産は横ばいと予測している。**太陽光発電分野**は、政策推進により、需要増加し、全出荷・国内生産ともにやや増加と予測している。**レーザ・光加工分野**は、半導体関連などの設備投資の継続により、全出荷・国内生産ともにやや増加と予測している。**情報通信分野**は、生成AI需要拡大によるデータセンタの設備投資継続により、全出荷・国内生産ともにやや増加と予測している。**センシング・計測分野**は、設備投資の継続により、全出荷・国内生産ともにやや増加と予測している。**光産業全体**では全出荷・国内生産ともにやや増加と予測している。

(1) 情報通信分野

- ・ **光伝送機器・装置**：設備増強が一段落し、光伝送機器・装置全体として全出荷・国内生産ともに横ばい予測している。
- ・ **光伝送用部品**：生成AI需要拡大によるデータセンタの設備投資継続により、光伝送用部品全体として全出荷・国内生産ともに増加と予測している。

(2) 入出力分野

- ・ **プリンタ・複合機**：複合機の需要が安定し、全出荷、国内生産ともに横ばいと予測している。
- ・ **撮像機器**：デジタルカメラ、車載カメラなどの需要が継続し、撮像機器全体として全出荷はやや増加と予測している。
- ・ **カメラ付き携帯電話**：全出荷はやや減少と予測している。国内生産はほとんどない。
- ・ **イメージセンサ**：デジタルカメラ、スマートフォン及び車載カメラなどの需要増加により、全出荷、国内生産ともにやや増加と予測している。
- ・ **光ディスク装置**：光ディスク装置として、減少と予測している。
- ・ **光ディスク媒体**：全出荷はやや減少と予測している。

(3) ディ스플레이・固体照明分野

- ・ **ディスプレイ装置**：テレビは減少傾向にあるものの、カーナビ、プロジェクタなどの需要増加により、全出荷、国内生産ともにやや増加と予測している。

- ・ **ディスプレイ素子**：液晶ディスプレイ素子、有機 EL ディスプレイ素子の海外メーカーとの競争が厳しく、全出荷・国内生産ともに減少と予測している。
- ・ **固体照明器具・ランプ**：LED 照明器具は、2027 年末に一般照明用蛍光灯の製造と輸出入が禁止となる影響により需要が増加し、全出荷・国内生産ともに増加と予測している。
- ・ **発光ダイオード**：固体照明器具・装置、カーナビ及びプロジェクタなどの需要増加により、全出荷・国内生産ともに増加と予測している。

(4) 太陽光発電分野

- ・ **太陽光発電システム**：政策（第 7 次エネルギー基本計画、建物省エネ義務化など）推進により、需要増加し、全出荷・国内生産ともにやや増加と予測している。
- ・ **太陽電池モジュール**：システム動向により、全出荷やや増加と予測している。なお、国内生産はほとんどない。

(5) レーザ・光加工分野

- ・ **レーザー・光応用生産装置**：半導体関連などの設備投資が継続されることから、全出荷・国内生産ともにやや増加と予測している。
- ・ **レーザー発振器**：レーザー・光応用生産装置が堅調なことから、全出荷・国内生産ともにやや増加と予測している。

(6) センシング・計測分野

- ・ **光センシング機器**：半導体、FA などの設備投資増により、光センシング機器全体として全出荷・国内生産ともにやや増加と予測している。
- ・ **光通信測定器**：生成 AI 需要拡大によるデータセンタの設備投資継続により、全出荷・国内生産ともに増加と予測している。